

# こんにちは 婦人会です

12月に入り寒さがひとしお身にしみる頃になりました。この頃の寒さについて、夏の暑さがなんとなく恋しく(いつもながらのないものねだり)感じるのは私だけでしょうか。今年も婦人会では、毎月の食事会、バス旅行などにご一緒させていただきました。皆様に喜んで頂き、また嬉しそうな笑顔や美味しい!の一言に、私達も元気を頂き一年間頑張ってお参りました。来年も皆様に楽しんでいただけるよう頑張ってお参りたいと思っております。

## ～ 婦人会・暮らしのエッセンス～



22日は冬至でした。私の故郷では、かぼちゃ団子(かぼちやと粉を耳たぶより少し柔らかめに溶いたものが入ったお汁粉)を食べ、ゆずのお風呂に入りました。ところで、なぜ冬至にかぼちゃとお風呂なのでしょう?例のごとく調べてみました。この日、北半球では太陽の高さが一年中で最も低くなります。そのため昼が一年中で一番短く、夜が長くなります。この日を境に一陽来復、日脚は徐々にのびていきます。この日は、冬至かぼちゃを食べ、冬至風呂(ゆず湯)に入って無病息災を祈るのだそうです。冬至の読みは「とうじ」というわけで、湯に浸かって病を治す「湯治」<sup>「とうじ」</sup>にかけられ、柚子も「融通が利きますように」という願いがこめられている。かぼちゃは、カロチンを多く含んでいて、体内でビタミンAにかわって肌や粘膜を丈夫にし、感染症などに対する抵抗力をつけてくれるので、冬至にかぼちゃを食べると風邪をひかないそうですよ。お身体に気をつけて良き年をお迎えくださいね。



桜台婦人会  
平成19年12月25日  
第72号